

Windows 8 64bit 版へのインストール

Windows 8 64bit 版では、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常はできないようになっています。DoctorMX のインストール、あるいはデバイスドライバーの更新／再インストールするときは、一時的にこれができるようにする必要があります。

それには、Windows 8 起動時の「スタートアップ設定」において、「ドライバー署名の強制を無効にする」とします。

「スタートアップ設定」画面を表示する方法

1：複数のシステムがインストールされていて、起動時に選べる場合は、「F8」キーを押して起動します。

「スタートアップ設定」画面が表示されます。
「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。
(数字キーの「7」を押します)

2：Windows 8 の動作中の場合は、以下の手順で行います。

(この説明を表示しながらは行えませんので、印刷したり、他のコンピューターで表示してください)



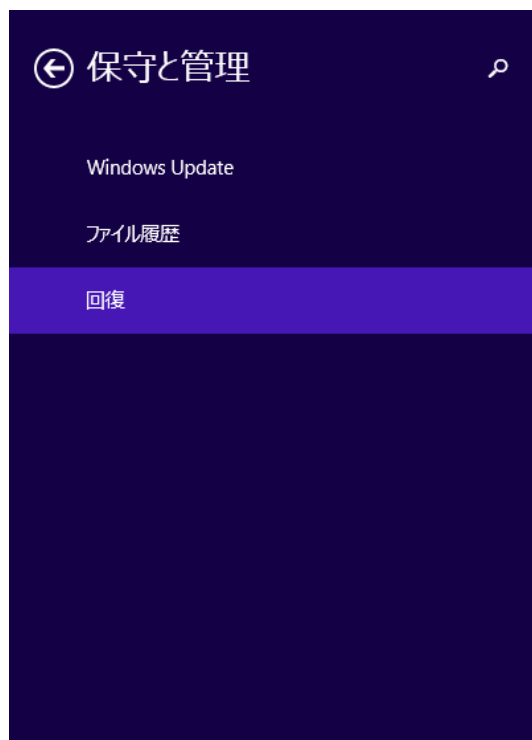
「設定」チャームを開き、「PC 設定の変更」を選びます。

「PC 設定」画面が表示されます。
Windows 8.1 の場合



(※表示を中略しています)

「保守と管理」を選びます。



PC をリフレッシュする

お使いの PC の動作が不安定な場合は、Windows をリフレッシュしてみてください。写真、音楽、ビデオなどの個人的なファイルには影響はありません。(リフレッシュを実行するとデスクトップアプリは削除されるため、再インストールが必要です)

開始する

すべてを削除して Windows を再インストールする

PC を工場出荷時の初期状態に戻します。PC をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやり直すときに行います。

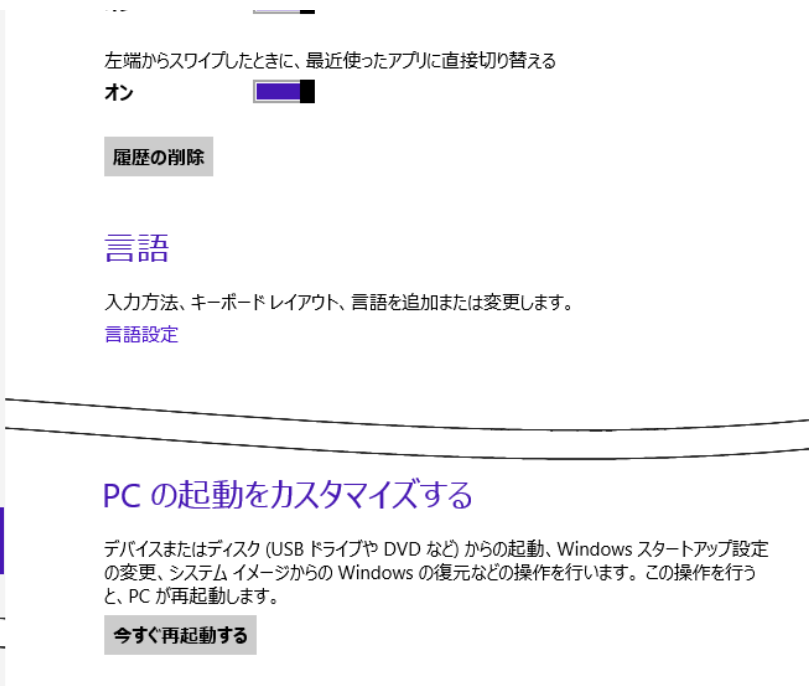
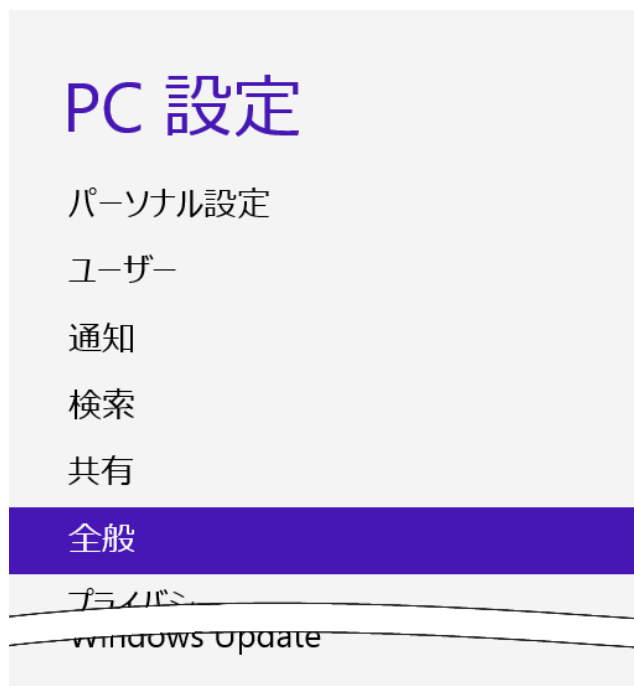
開始する

PC の起動をカスタマイズする

デバイスまたはディスク (USB ドライブや DVD など) からの起動、Windows スタートアップ設定の変更、またはシステム イメージからの Windows の復元を行います。この操作を行うと、PC が再起動します。

今すぐ再起動する

「回復」を選び、「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選びます。



「全般」を選び、「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」を選びます。

(以降は Windows 8 / 8.1 で同様です)
「オプションの選択」画面が表示されます。



「トラブルシューティング」を選びます。

「トラブルシューティング」画面が表示されます。



「詳細オプション」を選びます。



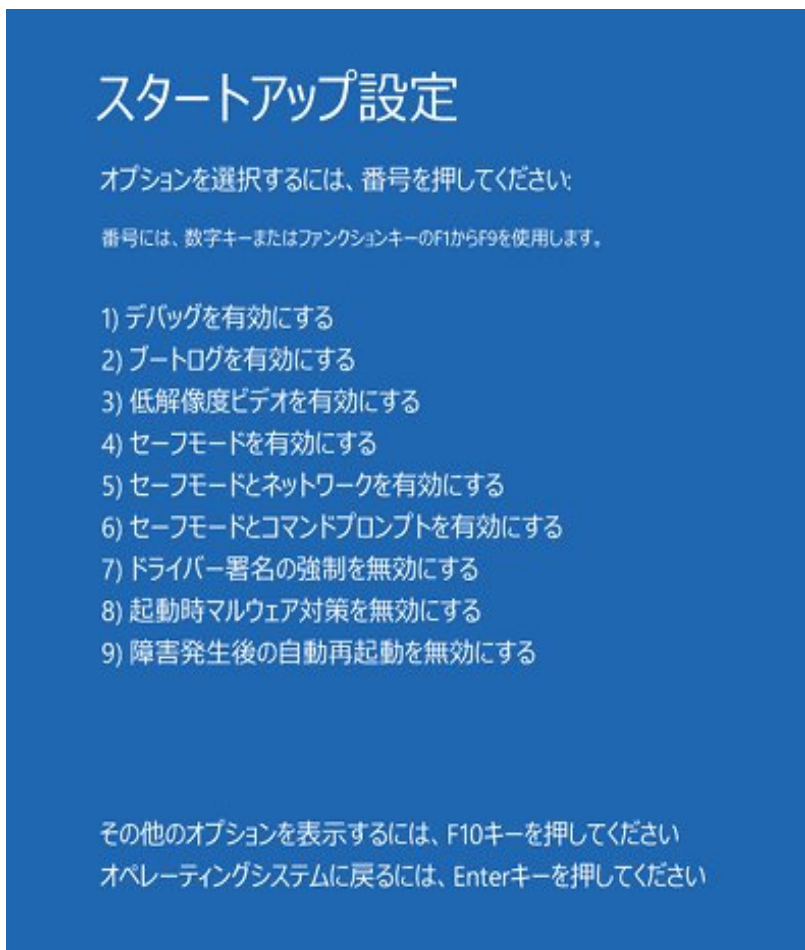
「スタートアップ設定」を選びます。

「スタートアップ設定」画面が表示されます。



「再起動」を選びます。ここで実際に再起動となります。

「スタートアップ設定」画面が表示されます。



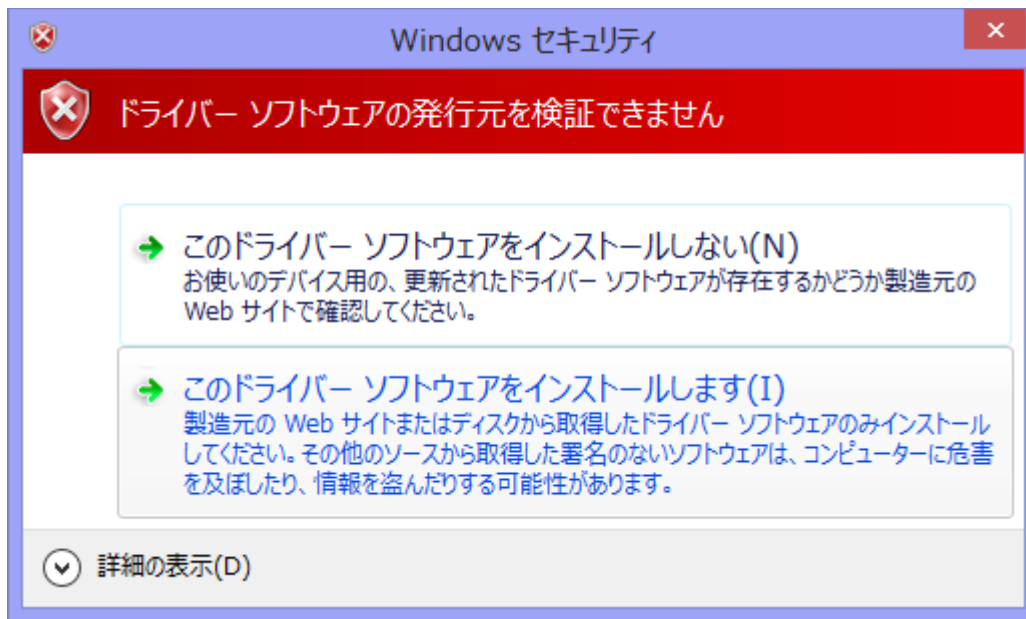
「ドライバー署名の強制を無効にする」を選びます。
(数字キーの「7」を押します)

このように起動してから、DoctorMX インストーラーの実行、デバイスドライバーの更新、デバイスドライバーの再インストールを行ってください。

次の起動時には通常の設定に戻っていますので、再度インストールなどを行う場合は同様の手順が必要になります。

「Windows セキュリティ」

DoctorMX のインストールや更新時に下記のようなメッセージが現れた場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします (I) 」を選んで、DoctorMX のデバイスドライバーのインストールを許可してください。



- 終わり -